



木柴孔雪四の巻上



上野介藤原重名釋



○冬 九十五首

秋よりもんし候もろろりるもぬくろひてハ鷹つのれなわ
 ぬくちハ暖血やうひてら飼てやさく秋よけりーよりハ暮とち
 うひて生るの温血とうひく鷹もつりあると也西園寺教鷹
 百首の中 なるあつて鷹のぬくめをある川もなきげさうけ
 又同これ三百その中やも鷹のさるさうけはうちのぬくめをさる
 爪根のあさげをさるさるともあさるさるはいつくさるさるさるこれね
 鷹を捉く不殺しくもの内は握さく寒ねと清さく明る